



新年度の挨拶



本校2年目になりました小野秀俊(おのひでとし)です。北川町祝子川出身です。

さて、延岡市の目指す子ども像として、「幸動～自他の幸せのために学び行動する子ども」があり、身につけさせたい力としては「ふるさと延岡のすぐれた自然や文化、伝統、人との絆を通して身に付けた豊かな心や自己肯定感を土台として、自他の幸せのために、自ら問いを立て、課題の解決に向け、仲間と協働して粘り強く学び行動する力」です。

それを受け、今年度北川中学校の学校経営ビジョンとして、

「ウェルビーイングのために生徒と職員・地域がともに成長し続ける学校」を掲げています。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的によい状態、言い換えると幸福感、幸福度ともいえます。ウェルビーイングな状態がながく続くように生徒たちと職員・地域保護者が一緒にになって成長し続ける学校を創りたいと考えています。

そこで、具体的な実践事項として、昨年のグローウィングをさらに一步推し進めてチャレンジ(挑戦)を合い言葉に、様々な教育活動に取り組んでいこうと考えています。

学校としての新たなチャレンジとして、文化発表会での探究学習から各学年の企画力を活かした発表への転換、体育大会では、5月から11月へ日程を変更し幼稚園生から小学生を含む地域の方が少しでも多く参加できるプログラムの検討、それ以外にも家田湿原緑化プロジェクトとして、家田湿原の駐車場に花壇の企画作成や記念植樹を計画しています。また、今年リニューアルオープンしたホタルの館再生プロジェクトとして、ビオトープの清掃やほたる育成などに積極的に関わっていきます。

また、学習面でも昨年度から進めている他校との交流学習を、1年生だけでなく全学年に広げていきます。その他にも、職業人講話や地元見学など、たくさんの大人が関わり地域で子どもたちを育てていけるような環境作りを考えています。

その中で、生徒には失敗を恐れず何事にも主体的にチャレンジしていくことで、自分の殻を打ち破り大きく成長し続けていってほしいと願っています。

それが本校のめざす生徒像である、「自立」「創造」「感謝」ができる生徒、そして地域に「貢献」する生徒に繋がっていきます。

この自然豊かな北川で育ったことや地域の方々の温かな支援に、そして何よりもいつも温かな眼差しで見守ってくれる家族に「感謝」し、その気持ちを地域ボランティアという形で地域に「貢献」してくれるものと信じています。その気持ちを持ち続けていくことが、いずれは社会に「貢献」できる人材へと繋がっていくことでしょう。

北川中では、あらゆる場面で、子どもたちの可能性の種を蒔き続けます。それが、中学校時代に芽が出なくとも、10年後、20年後先に素敵な自分だけの花を咲かせることを願って。

今後とも、子供たちの成長を温かく見守っていただき、本校の教育活動に対しまして御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

